

11月公演

女流義太夫演奏会

クドキ二題

心情を切々と訴える最大の聴かせどころ

伽羅めいぼくせん先代だいはぎ萩

政岡忠義まさおかちゆうぎの段だん

浄瑠璃 竹本 越孝
三味線 鶴澤 弥吉

艶容女舞衣はですがたおんなまいぎぬ

酒屋さかやの段だん

前 浄瑠璃 竹本 越若
三味線 鶴澤 駒治

後 浄瑠璃 竹本土佐子
三味線 鶴澤津賀花



鶴澤津賀花



竹本土佐子



鶴澤駒治



竹本越若



鶴澤弥吉



竹本越孝

2023年11月20日(月)
18時30分開演 [18時開場]
お江戸日本橋亭

東京都中央区日本橋本町3-1-6 日本橋永谷ビル 03-3245-1278

●東京メトロ銀座線三越前駅A10出口徒歩2分

●JR総武線新日本橋駅徒歩2分

主催 ●一般社団法人義太夫協会 / 義太夫節保存会

後援 ●公益財団法人日本伝統文化振興財団

助成 ●文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会



料金◎4,000円 / 完全予約制 / 全席自由

*定員になり次第締め切ります。

会員・学生・障がい者手帳をお持ちの方 3,000円

予約受付: 2023年10月18日(月)10時30分より

☎ 03-6264-3047

✉ am-giday@gidayu.or.jp

お一人様2枚まで お電話またはメールにて。

10時30分より前のメールは無効とさせていただきます。

*未就学児の入場をご希望の方は当協会までお問合せください

一般社団法人 義太夫協会

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目3-12 秀和第二築地レジデンス706号室

TEL.03-6264-3047 FAX.03-6264-3048

●http://www.gidayu.or.jp/ ●E-mail:am-giday@gidayu.or.jp

伽羅先代萩

政岡忠義の段

【解説】

天明五年（一七八五）江戸結城座初演。松貫四、吉田角丸らの作。万治から寛文にかけて起こったお家騒動を題材とした全九段の時代物。時代は鎌倉時代の設定に変えられています。

【あらすじ】

奥州のとある大名家では、城主の遊蕩で国が乱れ、幼君が跡を継ぎますが、これに乗じて家老仁木弾正らがお家乗っ取りを企てます。幼君鶴喜代の暗殺計画に対して、乳母政岡は幼君の命を守るため、我が子千松の命をかけて戦います。

敵方梶原景時の妻栄御前が、頼朝公からの見舞いと称して菓子を持参します。なんとか鶴喜代君に菓子を食べさせようとする栄御前。しかし毒入りと察した千松が奥の間から走り出て菓子を食べ、事の発覚を恐れた八汐は千松を無礼討ちにします。我が子の死に、涙も流さず気丈に振る舞う政岡を見て、我が子と鶴喜代君を取り替えたと早合点した栄御前は一味の企みを打ち明け立ち去ります。一人残った政岡は、我が子の亡骸を抱き「でかした」とかきくどきます。陰からその様子を見た八汐が政岡に襲いかかるものの、政岡は一刀のもとに八汐を成敗し、千松の仇を討つのでした。



艶容女舞衣

酒屋の段

【解説】

安永元年（一七七二）大坂豊竹座初演。作者は竹本三郎兵衛、豊竹応律、八民平七。美しい人情を描いた世話物の代表作です。中でも、本日演奏するお園のクドキの、「今頃は半七様どこにどうしてござろうぞ」はよく知られています。元禄八年、大阪千日前での赤根屋（茜屋）の半七と美濃屋の三勝が心中した事件が歌舞伎となり、二十五年を経た享保四年、紀海音が『笠屋三勝廿五年忌』という浄瑠璃を創作しました。その後更に笠屋を実説美濃屋にし、半兵衛やお園を配した『女舞剣紅楓』の筋を受け、発展させたものがこの作品です。上中下三巻に分かれ、下の巻の、「上塩町の段」が「酒屋の段」となります。

【あらすじ】

大阪上塩町の酒屋「茜屋」に幼子連れられた女が酒を買いにあらわれ、子どもをおいて姿を消します。この店の息子半七は、お園という貞淑な女房がいるものの、以前から美濃屋の三勝という遊女となじみ、二人にはお通という子どももおりました。半七はふとした廓のいきさつで、人殺しの科人となってしまっています。半七の父半兵衛は、一度は息子を勘当したものの、不憫に思い、代官所で息子の罪を引き受けて縄にかかります。一方、お園の父宗岸は、半七の不行跡に愛想をつかし、一旦はお園を実家へ連れ戻したものの、お園が悲しみに沈んでばかりいるので、再び嫁として迎えてくれるように半兵衛に頼みに来ます。お園は夫に嫌われるのは己の至らなさからと、ひとり寂しく半七の身を案じます。



お江戸日本橋亭 03-3245-1278

◎お客様にお願い◎

- 発熱、他の風邪諸症状・体調不良等のある場合はご来場をお控えください。
- 曲間・幕間に換気を行います。
- 上演中に声掛けをする場合は必ずマスクの着用をお願いいたします。
- 演奏中の私語は周りのお客様のご迷惑になりますのでお慎みください。
- 大きなお手荷物の持ち込みはご遠慮ください。
- 会場備え付けのスリッパは使えません。必要な方はご持参ください。
- ご予約いただいたお客様は、**当日受付にて入場料をお支払いください。**

義太夫協会 会員募集!

義太夫協会主催公演の入場料が割引になるサポーターシステム（賛助会員）は常時会員募集中です。詳しくは義太夫協会までお問い合わせください。

次回12月公演

女流義太夫演奏会 2023年12月17日 [日] 紀尾井小ホール

開演◎13時30分 [開場◎12時45分] 料金◎4,000円/会員・学生・障がい者手帳をお持ちの方3,000円